

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.1

【令和3年3月31日時点】

団体名		公益財団法人吹田市国際交流協会				所管部室(課)名		都市魅力部 文化スポーツ推進室	
所在地		〒565-0862		吹田市津雲台1丁目2番1号					
設立年月日		平成3年3月12日			代表者職・氏名		理事長 近藤 佐知彦		
基本財産		200,000,000		①本市出資金(本市の出資割合)		円 (%)			
				②本市出捐金(本市の出捐割合)		200,000,000 円 (100 %)			
設立目的	吹田市と連携をはかりながら市民主体の国際交流活動を進めるとともに、地域に根ざした国際相互理解や国際化に資する事業を推進することにより、異なる文化や価値観を有する人が安心して暮らせる人権尊重を基調とした地域社会づくりに寄与することを目的とする。								
事業内容	(1) 国際理解及び国際化に関する啓発及び研修 (2) 市内に居住又は滞在する外国人に対する支援 (3) 市民による国際交流活動及び国際協力活動に対する支援 (4) 国際化の担い手の育成に関する事業 (5) 国際交流に関する情報や資料の収集及び提供 (6) その他法人の目的を達成するために必要な事業				(具体的な事業内容) 行政・国際交流情報の収集及び発信 / ボランティア講座/ 語学教室 / 異文化理解、啓発事業 / 子ども国際理解事業 / 防災・災害事業 / コロナ禍の食料配布事業 / 日本語教室事業 / コミュニティ通訳ボランティア同行事業 / コミュニティ通訳スキルアップ事業 / 地域事業への外国人の参加促進事業 / 外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業 / 子育て中の外国人支援 / 文化庁ほか助成事業など				
		合計(市職員及び元市職員以外も含む。)				合計(元市職員以外も含む。)			
				うち市職員	うち元市職員			うち元市職員	
役員数(人)	理事(取締役)	常勤	0	0	0	職員数(人)	常勤	4	0
		非常勤	8	1	0		再任用(※1)常時勤務	0	0
	監事(監査役)	常勤	0	0	0		再任用(※1)短時間勤務	0	0
		非常勤	2	0	0		非常勤	0	0
65歳以上の役員数(※2)(人)		4			0	臨時雇用員	5		
評議員(人)		10	0	0	0	65歳以上の職員数(※2)	0	0	0
元市職員に対する報酬や給与水準が、市再任用職員の水準を上回る。(いずれかに○)						該当 ・ <input type="radio"/> 非該当			
【該当する場合のみ記載】内容									
元市職員に対して退職金を支給している。(いずれかに○)						該当 ・ <input type="radio"/> 非該当			
【該当する場合のみ記載】内容									

※1 再任用職員とは、60歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている職員をいう。

※2 65歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている役員数又は職員数。

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.2

【令和2年度決算】

団体名		公益財団法人吹田市国際交流協会		所管部室(課)名		
				都市魅力部 文化スポーツ推進室		
財務状況(円)	損益計算書	総収入	34,187,901	貸借対照表	資産の部合計	228,154,172
		(うち市受入金)	9,977,878		負債の部合計	13,959,192
		(その他)	24,210,023		(うち有利子負債)	0
		総費用	44,909,802		正味財産合計	214,194,980
		経常損益	△ 10,721,901		(うち一般正味財産)	14,194,980
		当期損益	△ 10,721,901			
市から団体への支出(円)	主な内容、算出根拠等					
	フロー	補助金	8,000,000	吹田市国際交流協会事業補助金		
		委託料	1,977,878	在住外国籍市民のための日本語教室、行政通訳窓口同行業務、コミュニティ通訳運営業務		
		指定管理料	0			
		その他	0			
		計	9,977,878			
	ストック	貸付金残高	0			
		債務保証残高	0			
		損失補償残高	0			
		出資金(出損金)	200,000,000	吹田市出捐金		
		その他	0			
計		200,000,000				

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.3

【評価対象期間: 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで】

団体名	公益財団法人吹田市国際交流協会	所管部室(課)名
		都市魅力部 文化スポーツ推進室

1 団体による評価

◎→できている ○→概ねできている △→一部できている ×→できていない

(1) 運営に関する評価

指針の項目	評価項目	評価	評価の理由
組織及び人事管理	規程等を適切に整備している。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の整備や労務管理は、随時社労士と相談している。 ・採用は、事業規模や経営状況に応じ募集の必要があれば、必ず公募し、採用は複数の職員によって公正性透明性を確保して実施している。 ・理事・評議員・監事は、全員報酬・退職金はない。 ・職員給与は、規定に基づき適正な支給に努めている。 ・他機関の関連事業や研修に積極的に参加を促し、職場における自主研修にも積極的に取り組んでいる。
	団体の事業規模に応じた簡素で効率的な執行体制としている。	◎	
	団体の事業規模や経営状況に応じた役員数及び職員数としている。	◎	
	採用における公正性・透明性を確保している。	◎	
	団体の経営状況に応じた役員報酬や職員給与としている。	◎	
	職員研修の充実に努めている。	◎	
事業運営	事業の必要性や意義を見直しつつ、効果的、効率的な事業運営を行っている。	◎	新型コロナウイルス感染症拡大予防によって中止・延期せざるを得ない事業もあったが、オンライン対応や代替企画を実施するなど、市民へのサービスを常に考慮し事業を運営している。
	事業を継続的に点検し、市民ニーズに沿ったものとしている。	◎	
財務管理	中・長期的な経営計画を策定している。	○	・令和2年度当協会中期計画書「多文化共生アクションプラン」に基づき計画をしているが、新型コロナウイルス感染症拡大という不測の事態のため、中・長期的な経営計画の見直しが必要である。 ・他機関からの助成金獲得にも努め、日常的な経費抑制に努めているが、安定はしているとはいえない。 ・常に公認会計士へ相談しながら、財務管理をおこなっている。
	自主財源の確保に努めている。	○	
	各種経費を可能な限り抑制している。	◎	
	最も確実かつ有利な方法で財産の管理運用を行っている。	◎	
	外部の専門家による監査を活用するなど監査体制の強化に努めている。	◎	
情報公開	団体の経営状況、事業計画を公開している。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・経営状況、事業計画、役員名簿、議案概要は常時閲覧可能であり、ホームページ上でも公開している。 ・外国人市民やボランティアに必要な関連情報を適切に発信できるようホームページのリニューアルを実施した。 ・個人情報保護について、規定を設け、適正な措置を講じている。
	団体の役員名簿、会議録等を公開している。	◎	
	ホームページをはじめとする多様な手段で情報提供を行っている。	◎	
	個人情報保護に関する措置を適正に講じている。	◎	

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No. 4

【評価対象期間: 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで】

団体名	公益財団法人吹田市国際交流協会	所管部室(課)名
		都市魅力部 文化スポーツ推進室

(2) 事業に関する評価

ア 指標による評価

事業名	活動指標	令和2年度目標	令和2年度実績	(参考) 令和元年度実績
	成果指標			
市民主体の国際交流・国際交流	機関紙SIFATimes発行部数	昨年並み	7,500部	8,400部
	ホストファミリー交流家庭数	昨年度の半数(32家庭)	0家庭	64家庭
国際化推進の人づくり事業	語学教室参加数	昨年並み	452名	516名
	異文化理解・啓発事業数	昨年並み	13回	14回
在住外国人の支援	日本語学習事業の参加者数	昨年並み	2,542名	3,225名
	コミュニティ通訳ボランティア同行事業	昨年並み	123件	232件

イ 指標で示すのが困難な場合

事業名	活動内容	成果内容

(3) 今後の取組方針 ※(1)において◎以外とした事項、課題となっている事項について重点的に記載

<ul style="list-style-type: none"> ・吹田市の「多文化共生推進指針(2017)」に沿って、積極的に事業に取り組む。 ・公的交付金や民間助成金を申請・確保することに努めることで、既存事業の強化と防災減災といった喫緊の社会課題である新規事業の推進を図り、支出の抑制をしながら事業の充実を目指す。 ・引き続き、財政状況を改善するための努力を続ける。令和3年度は、PCのリース契約、コピー機の契約等の見直しを行う。 ・在住外国人の多様化とコロナ禍による社会の変容に伴い、当協会職員の知識やスキルがますます重要になっており、市側からの各種要請に的確にこたえられるように、従来以上に職員とボランティアの人材育成に努める。

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.5

【評価対象期間: 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで】

団体名	公益財団法人吹田市国際交流協会	所管部室(課)名
		都市魅力部 文化スポーツ推進室

2 市による評価

◎→できている ○→概ねできている △→一部できている ×→できていない

(1) 団体の運営に関する評価

事項	評価項目	評価	評価の理由
団体の存在意義	市民福祉の向上に資する事業を行っている。	◎	団体の豊富な情報や広い人脈を活用しながら、本市委託事業や補助事業、団体の自主事業を展開しており、吹田市多文化共生推進指針に基づく施策の推進に寄与している。
	事業の成果が市の施策の推進に貢献している。	◎	
事業実施主体としての妥当性	市が直営で行うよりも効果的かつ効率的にサービスを提供している。	◎	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン対応にするなど、効果的かつ効率的に事業を実施し、外国籍市民への支援などのサービスを提供している。
	多くの市民の理解が得られる活動を行っている。	◎	

(2) 団体の自己評価に対する市の見解

規程の整備や労務管理は適正に整備されている。組織運営や人事管理については、採用は必ず公募するなど公平性・透明性が確保されている。財務管理については、新型コロナウイルス感染症拡大等の不測の事態に備え、中・長期的な経営計画の見直しが必要であると認識しており、更なる経費抑制や財源確保の方策について検討されたい。

情報公開については、ホームページにおいても経営状況、事業計画、役員名簿、議案概要を公開しており、また個人情報保護についても、適正に実施している。

新型コロナウイルス感染症の対応のためにオンライン対応や代替企画を実施するなど、市民ニーズをとらえた活動を行っており、高く評価している。

(3) 市の関与に関する今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の状況下において、これまでの生活様式の変更を余儀なくされており、これまで実施してきた事業等の実施手法について再考が必要な状況となっている。また、外国籍市民の多様化への対応等、現状の問題に対応するための体制づくりも急務である。これまで協会が蓄積したノウハウを活用し、今後も市と当協会が両輪となって外国籍市民が安心して住むことができるまちづくり、多文化共生社会を推進する必要がある。